

くっ……!!  
なんたる屈辱……!!  
この妾がこのような  
下賤な男にいい様に  
されるとは……!!

ええぬい! 離さぬかっ!  
妾の許しなく!  
このやうな死に  
まぐわい万死に  
値すると思え!!

いやはや  
しかしですなあ  
プリシラ様

私のちんぽを  
啜えて離さないのは  
プリスラ様の  
おまんこの方では  
ありませんか(笑)



ギョッ

ムッ ムッ

むにっ

むにっ

ズッ

ぬふっ

ズッ

ぬ

ちやあ

ぬふっ



くっつく  
ふさける  
でないっ!

貴様が  
妾に怪しげな  
術をかけた事は  
もとより明確!!!

このような行為に  
妾の意思など  
万にひとつも  
介在せぬ!

本当ですかのり?  
この愛液の溢れよう  
わしのチンポが  
気持ち良くって  
自ら腰を振つて  
いるのでしょうか(笑)



むに

たぶ

むち

むに

おちゅ

ん

おちゅ

ん

おちゅ



はっ！  
貴様の粗末な  
逸物で妾に性の  
快楽を与えられる  
わけがなかるう！

どれだけ  
怪しげな術を  
貴様が行使しようと  
この世は妾の都合の  
でいようにおる……！！

術が解けた際には  
妾の至高なる体には  
好き勝手してくれ  
罪で血祭りにして  
くれる！

おそれそれは  
怖いですなあ(笑)

では残り短い命では  
ありますが  
術が解けるまで  
プリシラ様の  
ドレスケベポ  
を堪能  
させてもらいますかのお



むち

むち

むに

おちゅ

おちゅ

おちゅ

おちゅ

おちゅ



数刻後

んおっ!!  
やめ!!  
やめぬかつ!!  
おおん!!

おっど  
どうし  
ましたかな?  
愛らしい嬌声を  
木霊させて

先程からわしのちんこが  
プリシラ様の  
膣内を往復する度に  
あんあん喘いで  
おりませぬか?(笑)

何故じゃ...!?  
何故術が解けぬ...!!  
その上...!!

あ...んお  
奥を...妻の  
子宮をつくなあ  
おんおん

お♡

はえ♡

んま♡

おんおん

おんおん

おんおん

ぬちゅ

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん

おんおん





あ、堪りません...なあ！  
このまま...中で  
出しますぞお！

おっ...んんんおお！  
やめっ...  
あっ...♡  
んんんお！！♡

そんな...  
妾の中に...  
このような下賤な  
男の精が注がれて...！！

あ...気持ちいい  
ですなあ...  
プリシラ様が  
わしの精を抵抗なく  
受け入れてくれるとは

これがプリシラ様に  
とつて都合のいい  
展開なのですか？(笑)



それから  
半年後！！



あ♡あつ♡  
今日も精を  
注いでくれるのだ  
だ♡

いやはや  
プリン様  
望まれるなら  
いくらでも  
まぐわい  
続けますぞ♪

嬉しいのお♡  
妾も最初は下賤な男と  
罵ったがすまなかつた♡

お主とのまぐわいが  
これほどまでに  
甘美なものとは  
思わなかつたのでな♡

いえいえ(笑)  
プリン様が  
わしの子を宿して  
くれて  
大変嬉しいですぞ♪



ズクッ

ビョッ

ズクッ

ズクッ

ビョッ

ズクッ

ズクッ

あ♡♡

あ♡♡

びゅっ♡

びゅっ

びゅっ



んおお♡  
妾もそなたの子を  
宿せて幸せじゃあ♡

お♡♡♡

んおお♡

ふふふ  
結局ワシの  
催眠術は解けぬまま  
でしたな  
プリシラ様

本当なら  
わしのような貧民に  
さいよようにされて  
さぞ悔しかろう

しかしもう  
手放しはせぬぞ  
このドスケベボディには  
一生わしの肉便器に  
なってもらおうかのう(笑)





























